

セブン-イレブンの環境に配慮した容器が 『2023 年度グッドデザイン賞』を受賞

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、お弁当・麺類・惣菜などに使用する容器において『2023 年度グッドデザイン賞』（主催：公益財団法人 日本デザイン振興会）を受賞しました。

今回受賞したのは、石油由来のインクや着色を削減することで、容器本体と容器の製造・配送工程などにおいて排出される CO₂ を削減した容器です。2022 年 12 月より北海道エリアにて先行導入し、2023 年 7 月に全国のセブン-イレブンにこの環境に配慮した容器を展開いたしました。これにより年間約 800 トンの CO₂ 排出量削減※を見込んでおります。容器としての機能性・デザイン性を追求しながら、環境にも配慮した取り組みが、この度評価されました。

セブン-イレブンは今後も、環境に配慮した取り組みを進めることで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※2022 年対比

【グッドデザイン賞とは】

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。 <http://www.g-mark.org/>



GOOD DESIGN AWARD
2023年度受賞



以上